

免許状教科	中学校社会、高等学校地理歴史・公民・商業		
科目名	教育相談の基礎と方法	科目分類	教職科目
			学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	School Counseling	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	たきざわ じゅん	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	瀧澤 純	修得単位	2単位
授業のテーマ	学校で起きる問題に対する理解を深め、対処方法を学ぶ。		
授業概要	教育相談についての基礎的な知識を講義形式で学ぶ。さらに、実際に起きた事件や、架空の事例を読み、自分が教員ならどう解決するかを考える。ロールプレイングを行うこともある。		
到達目標	教育相談の対象となる問題（非行、いじめ、家庭の問題など）に対する解決法を考え、身につける。また、学内の連携や学外の専門家との連携についても理解できるようになる。		
授業時間外の学習	授業計画に書かれた用語について予習し、毎回の復習を行う必要がある。自分や周囲の人が体験した学校でのトラブルについて、どのように解決すべきなのかを考えること。		
履修条件	特にない。		
授業計画			
第1回	教育相談とは：進路指導・職業指導・生徒指導との違い		
第2回	カウンセリングの基礎① カウンセリングマインド：スクールカウンセラー、基本的態度		
第3回	カウンセリングの基礎② 非言語的コミュニケーション：来談者中心療法、ラポールの形成		
第4回	カウンセリングの基礎③ 心に注目する：心の病の原因、精神分析療法、適応機制		
第5回	カウンセリングの基礎④ 自己に注目する：養護教諭、教育相談の機能、転移と逆転移		
第6回	非行① 困った生徒への対応：学校内の役職（充て職）、暴走、万引きをした生徒		
第7回	非行② 校内暴力、体罰と懲戒：体罰の基準についてのガイドライン、警察や地域との連携		
第8回	犯罪被害：子どもとインターネット、外部の相談機関、危険ドラッグ		
第9回	いじめ① いじめの基礎知識：いじめの統計、定義の変遷、いじめは増えているか		
第10回	いじめ② いじめへの対応：いじめ防止対策推進法、4タイプ理論、4階層構造論		
第11回	いじめ③ ネットいじめ、不登校、虐待：ネットいじめの特徴、不登校の原因、虐待の種類		
第12回	家族の問題：家庭内暴力、モンスターペアレント、相談の枠		
第13回	障害① 身体障害：肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、インクルーシブ教育		
第14回	障害② 知的障害：発達障害、自閉症スペクトラム、学習障害、ADHD		
第15回	障害③ 精神障害：治療の歴史、中高生に特徴的な精神障害、認知行動療法の実際		
第16回	定期試験		
テキスト	使用しない。授業中に資料を配布する。		
参考文献・資料	丹野義彦ほか『自分のところからよむ臨床心理学入門』（東京大学出版会、2001年） 丹野義彦ほか『New Liberal Arts Selection 臨床心理学』（有斐閣、2015年）		
成績評価の方法	平常点（授業態度、提出用プリント）を40%、期末試験を60%として評価する。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		

オフィスアワー	① 毎週月曜 13:00～14:30 ②毎週金曜 13:00～14:30
学生への メッセージ	授業の計画および授業の内容は状況に応じて変更することがあります。授業中に変更のお知らせをします ので、授業へ積極的に参加してください。